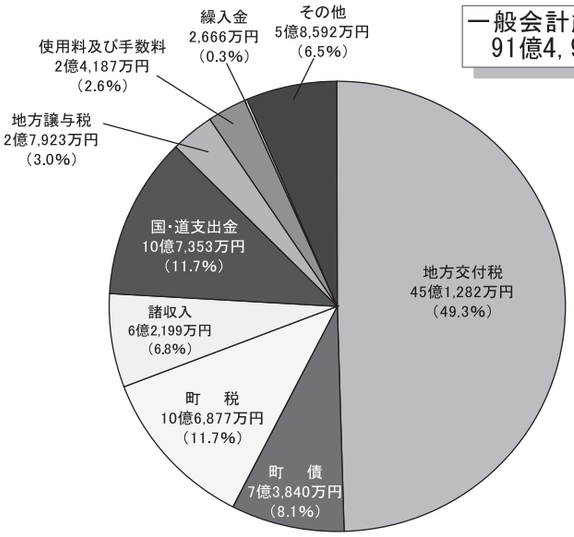
平成19年度決算の内容をお知らせします

平成19年度の決算がまとまりました。みなさんの税金や国からの補助金・交付金が、どのようにまちづくりに活かされているのか、そしてまちの財政がどのようになっているのかをお知らせします。

一般会計歳入
91億4,919万円



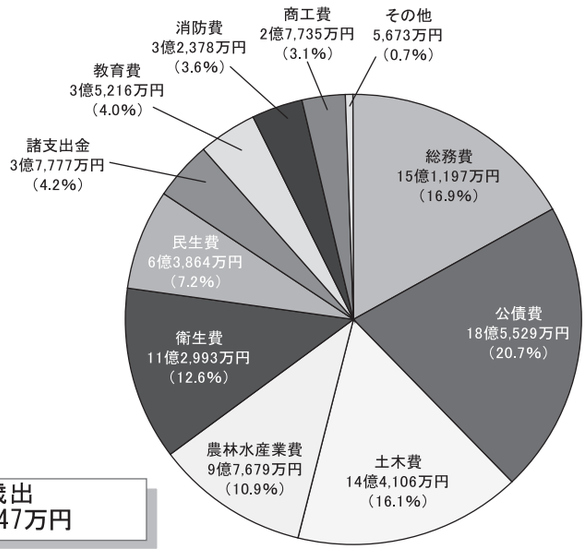
みなさんが納めた税金は

一人あたり	95,146円
一世帯あたり	227,350円

みなさんのために使われた費用は

一人あたり	796,000円
一世帯あたり	1,902,036円

※人口　11,233人　世帯　4,701世帯
（平成20年3月31日現在）



一般会計歳出
89億4,147万円

主な施策と効果

平成19年度の主な振興策として、農畜産業振興では中山間地域等直接支払制度交付金事業を活用した土づくりや生産対策、担い手対策、農畜産物ブランド化支援に取り組むとともに、クリーン米生産の一環として水稲温湯種子消毒施設、水田用栽培管理機（ビークル）整備への支援、畜産担い手育成総合整備事業として草地整備改良・農業用施設整備など自給飼料生産の確保、安定化を図るための基盤整備を実施しました。

商工業の振興では、金融懇話会の開催、商工業者の経営相談などを積極的に進めるとともに、町特別融資の信用保証料の補助を実施するなど中小企業の支援体制の強化に努めました。

観光振興では、平成19年4月に道の駅びえい「丘のくら」をオープンし、市街地の賑わいづくりと商店街の活性化に向けて取り組みました。また、サイン整備事業により、観光案内看板を設置し、観光客の受け入れ体制の充実と交流促進施設の利用促進に努めました。

福祉施策では、高齢者、障がい者、児童などを対象に総合的な福祉施策を実施しました。高齢者福祉では、高齢者団体・敬老会への支援、高齢者福祉住宅の整備、各種在宅サービスを実施しました。介護保険関係では、利用の促進のため利用料軽減助成事業、高齢者在宅生活継続支援事業などを実施するとともに、地域密着型サービスとして地域介護・福祉空間整備等事業を実施し、介護保険基盤の充実を図りました。

保健関係では、生活習慣病対策として、医療費や健診デー

性質別歳出内訳

事業費　18億2，556万円（19・9％）
道路や公営住宅、高齢者共同福祉住宅などの公共施設の建設に係る経費

人件費　14億3，399万円（15・7％）
職員の給与や議員・審議会・行政委員の報酬などの経費

公債費　18億5，528万円（20・3％）
町の借入金に対する償還金

繰出金　5億9，467万円（6・5％）
病院や上下水道などの他の会計へ繰り出す経費

補助費　13億4，190万円（14・7％）
各種団体への補助金や消防組合・清掃組合・広域連合への負担金

物件費　7億9，643万円（8・7％）
公共施設の管理費や物品の購入費、職員の旅費などの経費

扶助費　3億3，881万円（3・7％）
生活困窮者や身体に障がいのある方々などに対する生活維持費のほか、医療費や児童手当などの経費

維持修繕費　2億4，629万円（2・7％）
道路の維持や除雪に係る経費のほか、公共施設を維持するための経費

投資・出資・積立　8，773万円（0・9％）
各種基金への積立金などの経費

その他　4億2，080万円（4・6％）
中小企業への融資や土地区画整理組合への貸付金などの経費

繰越額　2億773万円（2・3％）
次年度への繰越金

会計別町債残高	（単位：千円）
一般会計	14, 087, 048
特別会計	3, 748, 147
企業会計	2, 359, 011
合計	20, 194, 206

基金残高	（単位：千円）
財政調整基金	508, 600
公共施設等建設基金	159, 840
減債基金	767, 750
生涯学習施設建設基金	128, 080
ふるさと創生事業基金	192, 494
福祉基金	200, 800
景観保全事業基金	25, 090
農業振興基金	23, 150
土地開発基金	194, 039
合計	2, 199, 843

特別会計　（単位：千円）

会計名	収入	支出	差引	一般会計からの繰入額
国民健康保険	7, 686	3, 909	3, 777	0
老人保健施設事業	347, 930	342, 384	5, 546	55, 473
水力発電事業	19, 208	19, 208	0	0
白金泉源事業	16, 881	15, 417	1, 464	0
簡易水道事業	98, 216	95, 687	2, 529	27, 154
公共下水道事業	682, 416	677, 537	4, 879	221, 442
合計	1, 172, 337	1, 154, 142	18, 195	304, 069

企業会計　（単位：千円）

会計名		収入	支出	差引	一般会計からの補助額
水道事業	収益	224, 640	217, 398	7, 242	604
	資本	58, 742	276, 972	△ 218, 230	
病院事業	収益	1, 217, 391	1, 222, 739	△ 5, 348	290, 000
	資本	0	107, 343	△ 107, 343	
合計	収益	1, 442, 031	1, 440, 137	1, 894	290, 604
	資本	58, 742	384, 315	△ 325, 573	

ともに、引き続き基幹産業である農林業を柱に地域の自立に向けた確かなまちづくりに取り組んでまいります。

夕の分析に取り組むとともに、住民周知のための地区説明会を開催しました。

教育環境の整備では、人間力をより豊かにするために、「生きる力」を育てる教育の一層の充実に努めるとともに、教育指導助手の配置による個別指導・少人数授業、特別支援教育、児童生徒の安全確保、学童保育の充実などに努めました。

社会教育では、文化の拠点施設として平成20年度から着手する、町民センター大規模改修の設計を行いました。図書館においては、図書の充実とボランティア団体との連携により一層の利用促進に努めました。

平成19年度末における財政指標は、経常収支比率84・5％（前年度85・1％）、公債費比率18・4％（前年度19・5％）、起債制限比率14・4％（前年度14・6％）となっており、一部事務組合や公営企業会計などに対する元利償還金への繰出金なども含めた実質公債費比率は、19・8％（前年度21・3％）となりました。これら財政指標が前年度の比率を下回った要因としては、税源移譲に伴う町民税の増、固定資産税の増、地方債元利償還金の減などによるものです。

今後においては公債費負担の適正化、行財政運営の効率化を一層強化すると